

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	芸術文化係
■評価事業名称	北上市民芸術祭開催費補助金			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	090200 - 106	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	01 芸術文化活動の推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画			
■事業の目的と概要	北上市民芸術祭の開催を通じ、市民の創作意欲と技術が向上する。芸術祭に来場することにより、市民の理解と関心が深まる。北上市民芸術祭開催の支援に係る補助7,000千円			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	北上市民芸術祭開催費補助金	実行委員会	さくらホール、市民交流プラザ等で舞台、展示の発表	参加事業数 59事業、事業参加人員 9,211人、出展数 7,035点、入場人員 23,838人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	7,007	7,005	7,001	7,001	
人件費	521	451	76	77	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	7,528	7,456	7,077	7,078	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	出展作品数	7103	7142	7,229	7,035	出展作品数
02	芸術祭延べ参加人数	35,500	35,645	34,140	33,049	出展人数+観覧人数

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

出品作品数及び出展人数、観覧人数は近年横ばいで維持している。また、市民が暮らしの中で文化鑑賞や活動に取り組み、より豊かで充実した生活を過ごせるよう、気軽に学んだり鑑賞や活動ができる環境づくりが進んでいる。また、旧市民会館当時は全額減免していたが、さくらホールには減免規定がないため、補助金から5,000千円以上さくらホールの利用料として支出している。

問題点・課題等

芸術祭実行委員会から、補助の継続を強く求められている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

市民芸術祭を開催することで、広く芸術文化活動の成果を一般市民に公開し、市民の理解と関心を深めるとともに、芸術文化活動の創造と発展に寄与する事業であり、継続的に開催することにより、市民による自主的な文化芸術活動の増加などによる「まち」の活性化につながっており、今後も継続して支援すべき事業である。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了